

Vol.110
2020年7月

あなたのふくし応援団 



させば**社協**だより

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会



昭和42年7月 「佐世保水害」
長坂町付近 提供:草場小夜子様

特集

防災と福祉～地域の**つながり**の大切さ

梅雨に入り、水害の発生が気になりとなる時期となりました。
佐世保市は、過去にも大きな水害が発生し、昨年も江迎川が氾濫して被害を受けました。
災害が多発する中で、過去の水害を振り返り、防災と福祉についてお伝えしていきます。



この広報誌は、会費・寄付金や、共同募金の配分を受けて作成されています。



昭和42年7月「佐世保水害」
長坂町付近 提供:草場小夜子様

佐世保水害について振り返る

近年、全国各地で地震災害や豪雨災害などが多発しています。

佐世保市でも、かつて大きな被害をもたらした佐世保水害がありました。その後も、平成30年7月の豪雨により相浦川、早岐川で氾濫危険水位まで至り、令和元年8月にも江迎川が氾濫するなど、毎年のように水害や土砂災害が発生しています。

今回は、過去の災害から、現在の防災と福祉についてお伝えしたいと思います。



昭和42年7月「佐世保水害」
佐々川付近 提供:松瀬七郎様

佐世保水害

昭和42年(1967年)7月5日～9日にかけて雨が降り続き、9日には、1時間に120ミリ以上を超える記録的豪雨となった。

主に佐世保川、相浦川、日宇川、佐々川などが氾濫し、黒髪町の川沿いの住宅地で局地的な被害が出た。

被害状況は、家屋全壊・流出406戸、家屋半壊579戸、家屋浸水28,251戸(昭和40年佐世保市内世帯数61,948戸)、県北一帯で死者、行方不明者57名の大きな被害をもたらした。

鮎川 学さん（71歳）

当時、高校3年生

家族7人（両親・祖母・兄弟4人） 若葉町在住



その日（昭和42年7月9日）は、ちょうど日曜日で、自宅にて試験勉強をしていた。

「雨がすごいなあ…」と感じながら、ラジオから流れてくる情報に耳を傾けていた。実際に外に出てみて、山の斜面から水が溢れ出している光景を見て驚いた。

その後、友人との会話から（佐世保の中心部にあった）東宝映画館にいた時に、場内に水が入り込んできたなど、同級生の中でも、多くの家が浸水していたことを知った。

その当時は、 被災した後にはどの様にして 復興されていかれたのですか？

「（被災した後の）片付けとかは、家族や親せき、近所の人のおったけん、みんなで片付けよったよ。」

「昔は、家に電話もなかったけん、借りに行ったりして、近所のつながりが強かった。」

当時は、大家族が多く、近所の人たちとのつながりも強く、町内で運動会や遠足などの行事が盛んに行われていたとのこと。

まだ、ボランティアの認知度は低く、家族や親族、近所の人たちが支え合いながら、被災した後の家屋の片付け作業をしていたそうです。

現在、鮎川さんは3人家族で、以前よりも少数世帯となり、もしも、災害に遭ったらとの不安があるとのことでした。



佐世保市においても、単身世帯や高齢者世帯の増加が続いています。母子世帯は国や県よりも世帯割合が高い状況にあります（平成27年調査による）、以前とくらべ世帯の形態が、大きく変わってきています。

また、インターネット等の普及から、情報の取得方法も大きく変化しており、私たちは、ほしい情報を指先一つで、手に入れることができるようになりました。

現在は、災害が起こると、素早く情報が全国各地に飛び回り、被災地だけではなく、全国各地から災害ボランティアがその地に集結します。

今回、鮎川さんとの話の中で、その時代にあった必然的な「つながり」ができていたことを感じました。

今、私たちにできることは？



左より大西悠希さん・新井開智さん・中尾裕太さん
松田柊さん・中尾亮太さん・窪田豪さん(当時、佐世保北校3年生)

昨年(2019年)8月に江迎川の氾濫により、土砂災害や床上、床下浸水などの被害が各地区で発生。その中、高校生とその保護者が、以前福岡県朝倉市や広島市安佐北区での災害ボランティアの経験を活かし、江迎町の被災された住宅の片付けを行いました。

今回、その当時高校生3年生であった中尾祐太さん(佐賀大学1年生)と中尾亮太さん(九州工業大学1年生)兄弟に災害ボランティアの体験についてインタビューしました。

今回ボランティア活動をされた時のその場所の状況は、どのような状況でしたか？

家の裏山からの土砂で花壇も流され、家の周囲が土砂に埋もれ、床上浸水で畳が濡れて、カビや悪臭が発生していました。濡れた畳は重く、一人の力ではとても運べない重さで仲間と協力して運び出しました。



令和元年8月 江迎町西岩崎地区付近

提供: 種本剛様



江迎地区被災された住宅の片付け作業



江迎地区被災された住宅の片付け作業

江迎地区での災害ボランティアを しようと思われたきっかけは？

高校生の夏、福岡県朝倉市で豪雨災害があり、土砂運びに行き、悪臭や重さと共に、床下に潜り込み泥をかき出す大変さを実感しました。たとえ高校生であっても時間と体力を提供することで被災者の方々の役に立てることがあるんだと感じました。

翌年夏には広島県安佐北区の豪雨災害でも土砂運びに行きましたので、地元佐世保市での豪雨災害発生とのことで、せめて力仕事だけでも自分で何とかしたいと思ったからです。



中尾さん兄弟とご友人、保護者の方々広島県での災害ボランティア活動

ボランティアをして、感じたことや気づいたことがあれば教えてください。

高校生の自分達が役に立てるのか、邪魔になるだけじゃないかと思っていましたが被災地に行くと被災者の方々は想像以上に大変な課題を抱えておられ、そんな中でも、自分たちの土砂運び作業が終わると、とても喜んで下さいました。力仕事や時間のかかる作業くらいは、高校生の自分でもできるし、たとえばさやかな仕事であっても、たくさんのボランティアを連日行なっていくことにより復興が進んで行くことを感じました。

また、猛暑の中の作業はチームを組み班長を決め、15分おき

に休憩し、作業は2時間だけでした。実際にやってみると汗だくでヘトヘトになり、作業ルールは熱中症予防に大切なことだと思いました。

感情的に一生懸命になりがちな現場で冷静に体調管理ができる仕組みに感心しました。ボランティアセンターでの受付やチーム分け、道具の貸し出しや返却、消毒の様子などマンパワーが結集していて、これまでの経験が積み重なった体制づくりが良くなされて、日本中から来たボランティアの人たちとスムーズにチーム作業ができるよ

うに統制されていました。

日本は自然災害が多い国だからこそ、災害の際には他人事とは思わずに身軽に動いて助け合える社会でありたい、その一員でありたいと思いました。大学生になってからも災害時にはボランティアに参加しようと思っています。



福岡県での災害ボランティア活動の様子



広島県での災害ボランティア活動の様子

今回、佐世保水害を経験し、家族や近所の人たちと一緒に復興をした高校3年生と昨年、江迎町で被災した住宅の片付け作業を、同じ意思を持つ友人達と行った高校3年生。

同じ視点で災害を通して見えてきたのは、それぞれの時代においての「つながり」ではないでしょうか。

Disaster Volunteer

「ボランティア活動団体応援プロジェクト」に対する助成金交付のご案内

このプロジェクトは「新型コロナウイルス感染症」の発生において、市民の生活が様々な支障をきたしており、その解決に向け、活動をするNPO法人やボランティア団体等が継続的に社会貢献活動ができるよう、感染症対策に係る活動の助成を行います。

①助成対象団体

助成対象団体は、以下の要件すべてに該当する団体が対象となります。

- (1)NPO法人又は佐世保市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターに登録のあるボランティア団体及び学校、町内会など
- (2)助成金交付要綱の趣旨に合致した活動内容であること
- (3)主な活動場所が佐世保市内であること
- (4)佐世保市内に在住している方を対象とした活動であること
- (5)自主的、継続的な活動ができること
- (6)営利営業を行う団体や政治、宗教活動を行う団体及び公益を害する恐れのある団体は除く

②助成対象事業

- (1)手づくりマスク（児童・生徒などが作ったマスクを福祉施設などへ配布）
- (2)フェイスシールドづくり（医療機関や福祉施設向けにフェイスシールドを作り配布）
- (3)お弁当作り（子どもやその世帯、高齢者などにお弁当をつくり配布）
- (4)ゴミ袋で防護服づくり（医療機関や福祉施設向けにゴミ袋で防護服を作り配布）
- (5)その他（本交付要綱の趣旨に合致した活動）

③対象期間

令和2年6月1日(月)～10月31日(土)までに行った活動とします。

④申請書等

佐世保市社協HPからダウンロードしていただくか、社協へ直接お問い合わせを頂き、申請書をお取り寄せください。

⑤申請締め切り

令和2年7月31日(金)までに社協まで提出してください。

詳細については佐世保市社会福祉協議会までお問い合わせください。

佐世保市ふくし応援団 佐世保市社会福祉協議会会員募集中!!

『社協会費』は、こんな活動を支援しています

※募集強化期間7月1日～9月30日



●地区福推協への支援



●食事サービス活動



●いきいきサロン推進



●ふくし教育講座



佐世保市社会福祉協議会では、福祉「ふだんのくらしのしあわせ」のまちづくり実現のため、様々な地域福祉活動に取り組んでいます。

いただいた会費は、地域福祉を推進する貴重な財源となっています。活動の主旨にご賛同いただける会員の皆様を募集いたします。

自分たちが暮らすまち「佐世保」のふくし応援団として、ご協力をよろしくお願いいたします。

年会費

一般会員
200円

賛助会員
(個人)
1,000円

団体会員
(企業)
5,000円

特別会員
(個人)
5,000円

特別会員
(企業)
10,000円



今回は世知原地区をご紹介します

この町を主となって支えているのが世知原地区福推協の皆さん(平成19年5月発足)。特に「地域と顔が見える関係性づくり」に力を入れておられ、去年12月には、世知原地区福推協初めての試みとして、地域の方々にも参加を促し餅つき大会をしたり、年に1回世代間交流グランドゴルフ大会を開催されています。



今回の新型コロナウイルス予防対策で福推協の総会や定例会もできない中、その中で「福推協として何かできないか」とみんなで考えられました。その結果、「消毒液を配布したらどうか?」との声が上がリ、三役会議で合意。福推協から民児協へ、そこから、主に一人暮らしの高齢者世帯へ消毒液を配りながら安否確認が行われました。



福推協から民児協へ

担当民生委員から地域住民へ



顔が見える関係性の構築
誰もが安心して暮らせる地区、世知原



新人職員紹介



今年度のフレッシューズを紹介します。皆さんと力を合わせて「人と思いがつながるまち佐世保」の実現に取り組んで参ります。よろしくお願い致します。



事務局長の吉永です。
市民一人ひとりが豊かに暮らせる福祉のまちづくりを目指し、職員と一緒に頑張ります。

地域福祉課の椿山です。
明るく元気をモットーに頑張りますのでよろしくお願いします。



地域福祉課の朝永です。
どんどん地域に出向き、自己の成長が地域への貢献に繋がればと思っています。よろしくお願いします。



表彰



下本山きしの会 (食事サービスボランティア)

こちらのグループの皆様が春の褒章・緑授褒章に選ばれました。

毎月1回、35年間、一人暮らしの高齢者を対象にお弁当を配り続けられています。

ご活動に敬意を表すると共に心からお祝い申し上げます。



善意のご芳志ありがとうございました

《個人》 中村 友義様 (宇久町平) 馬場 光男様 (鹿町町下歌ヶ浦) 高松 弘様 (宇久町神浦)
 嶋藤 登美子様 (鹿町町下歌ヶ浦) 山崎 末好様 (宇久町小浜) 下川 文子様 (宇久町平)
 太田 勝徳様 (宇久町木場) 中道 一夫様 (宇久町平) 中村 清美様 (宇久町平)
 三宅 博英様 (宇久町神浦) 西 敬司様 (宇久町平) 湯村 泰郎様 (鹿町町鹿町)
 大岩 三千男様 (宇久町太田江) 川久保 富枝様 (鹿町町鹿町) 中山 京子様 (江迎町長坂)
 岩本 ユキ工様 (宇久町平) 故 高田 輝雄様 (野中町) 深堀 寛治様 (白南風町)
 吉田 紀美子様 (宇久町神浦) 白濱 久視様 (宇久町小浜) (順不同)
 宅島 富士彌様 (大和町) 中村 寿幸様 (宇久町木場)

《団体》 エンジョイスピリッツリーグ (佐世保市社会人軟式野球リーグ) 様
 福祉まつり実行委員会様
 社会福祉法人 日野進徳会様
 T&K株式会社様
 株式会社セブン・イレブン・ジャパン様

(令和2年2月1日～5月29日受付分)

社会福祉協議会では、香典返しの寄付や募金などの一般寄付をいただいております。これらの浄財は、様々な福祉事業に活用させていただいております。また、香典返しをご寄付いただいた方には、挨拶状 (忌明け礼状) を印刷しております (枚数は金額に応じます。) 詳しくは社会福祉協議会までお気軽にお問合せ下さい。

ご寄付をありがとうございました



日野保育園様より予防エプロンをいただきました。介護の現場は、災害があってもコロナでも止めてはいけない必須事業として国から指定されているので、何があってもお客様のところに行かなくてはなりません。

ご寄付を頂き、介護現場の職員からは、「大変感謝しています」と多くの声が上がりました。大切に使用させていただきます。

セブンイレブンジャパン様より「地域の人にぜひ活用してほしい」「本業を通じて、社会に貢献したい」と、飲食品や、日用品を約150品ご寄付を頂きました。同社の地域活動の一環として、九州では福岡・佐賀・長崎の3県下でこのような活動をされているとのこと。有効に大切に使用させていただきます。



T&K株式会社様より、マスク5,000枚のご寄付を頂きました。元々、中国を拠点に事業を展開されており、今回頂いたマスクについては、中国の自社工場で作られたマスクとのこと。

主に介護事業所や保育所等、利用者へ直接支援を行う現場で大切に活用させていただきます。



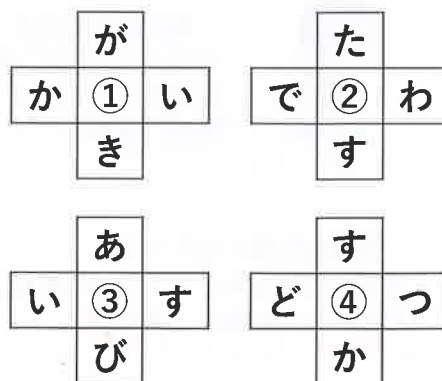
空欄にひらがなを入れ、3文字の単語を完成させてください。①から④を繋げたものが答えです。ハガキに指名・年齢・答え・社協だよりの感想・ご意見等を書いて社会福祉協議会へご応募ください。抽選で15名の方に図書カードを差し上げます。

〈応募先〉 〒857-0028

佐世保市八幡町6-1

佐世保市社会福祉協議会

〈×切〉 令和2年7月31日必着



前号の答えは『まちづくり』でした。沢山のご応募ありがとうございました。前回外れた方も是非とも再チャレンジを！ご応募、お待ちしております。

〈問合せ先〉 社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会
 〒857-0028 佐世保市八幡町6-1
 ☎0956-23-3174/FAX 0956-23-3175
<http://www.sasebo-shakyo.or.jp/>